

## 能力評価の成果物（ポートフォリオ）のたたき台について

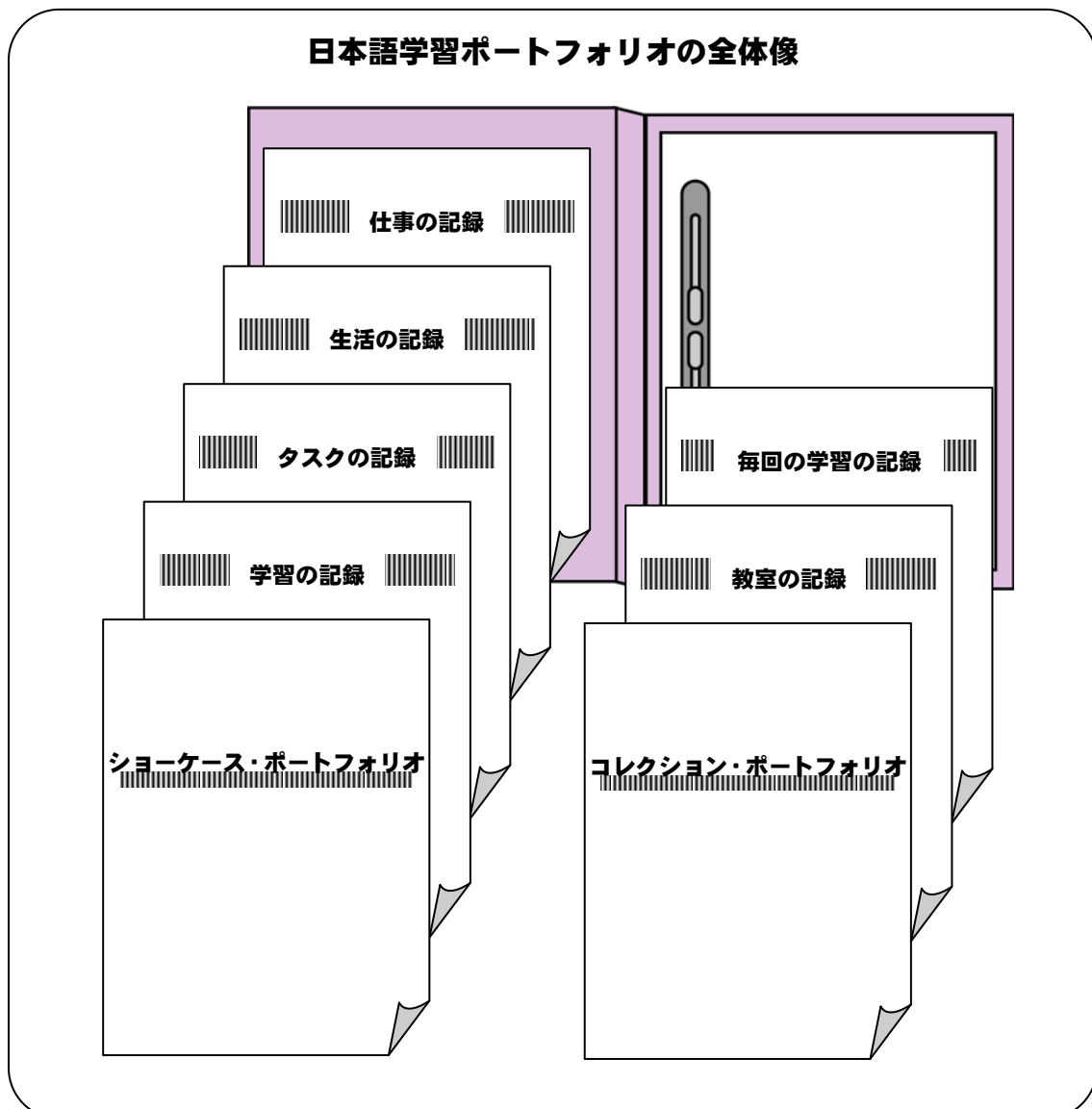
（第40回日本語教育小委員会配布資料の抜粋）

### 能力評価ツール（たたき台）

#### 1. 能力評価ツールの目的

日本語教育小委員会での議論を踏まえ、本能力評価ツール（たたき台）は、(1)日本語学習および周囲とのコミュニケーションの動機継続につながるものであること、(2)学習者の継続的な学習支援につながるものであること、(3)学習者の社会参加およびチャンスの拡大につながるものとして活用されることを目的として作成。

#### 2. 能力評価ツールの概要



## (1) ショーケース・ポートフォリオ

学習者が、自らの学習、生活（滞在）、就業の履歴を記録するポートフォリオであり、以下の（ア）～（エ）の内容を含む（※コレクション・ポートフォリオの要約を含む）。学習者が日本語学習支援者や家族のほか、地域住民や学校、企業などの第三者と共有することを前提とする。

### （ア）学習の記録

一定の教室、一定期間の学習について、場所、期間、学習目標、成果、教材名等を記録する。

### （イ）タスクの記録

「生活上の行為」をベースとしたタスクのリスト。自身が学習した項目について、学習した場所、日付、評価（自己評価、他者評価）を記録する。

### （ウ）生活の記録

居住開始年月、居住地を記録する。

### （エ）仕事の記録

就業開始年月、職業、職種を記録する。

学習者がこれらの記録を携帯し、家族、地域住民、日本語学習支援者らと共有することにより、次のような効果が期待される。

- 学習者自身が、一定の期間のうちに何を学び、どのような成果を修めたのかを振り返る材料とする。これにより、今後の学習の目標を立てやすくし、動機の継続を促す。
- 学習者が、周囲の人（家族、地域住民）と共有することで、コミュニケーションのきっかけとなり、学習の動機付けとなる。
- 学習者が、転居などにより日本語教室を移動した際に、受け入れ先の支援者が参照し、継続的、効果的支援を行う。
- 学習者の進学や就職などの機会拡大につながる。

## (2) コレクション・ポートフォリオ

学習者が、日本語教室等での学習活動について記録するポートフォリオであり、次の(ア)、(イ)の内容を含む。主に、日本語学習支援者と共有することを前提とする。

### (ア)教室の記録

日本語教室（学校・機関）等について、教室の名前、期間、曜日、時間、使用教材を記録する。

### (イ)毎回の学習の記録

日本語教室での毎回の学習ごとに、日付、支援者の名前、学習テーマ、修得事項、今後の希望、全体の振り返りについて記録する。支援者のコメントも得る。

学習者がこれらの記録を携帯し、日本語学習支援者と共有することにより、次のような効果が期待される。

- 学習者自身が、日本語教室等での毎回の学習において、何を学び、どのような成果を修めたのかを振り返る材料とする。
- 日本語学習支援者と共有することにより、日本語学習支援者は学習者の学習の過程を把握し、適切な支援を行う資料とする。

### 各ポートフォリオと周囲の関係

